

令和 6 年 6 月 6 日現在

機関番号：17601

研究種目：若手研究

研究期間：2020～2023

課題番号：20K18839

研究課題名（和文）医師養成の医学部における教員評価制度の実証的な比較研究

研究課題名（英文）A Comparative Empirical Study of Medical School Faculty Evaluation Systems

研究代表者

大関 智史（Ozeki, Satoshi）

宮崎大学・IRセンター・講師

研究者番号：40831582

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 2,900,000円

研究成果の概要（和文）：本研究の目的は、医師養成過程である医学部医学科における教員評価制度の発展に資する研究を実施することであった。本研究全体を通して、教員評価制度に関する調査のみならず、近年の教育の質保証において中心となる学修成果基盤型教育の観点からも重要となるアドミッション・ポリシー及びファカルティ・ディベロップメントと関連した研究成果もあげることができた。さらに、国際比較研究の観点から、米国の医学部への訪問調査を実施し、教員評価制度の現状と課題も明らかにすることができた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究の学術的意義は、近年の高等教育政策における教育の質保証に着目し、教員評価制度のみならず、質保証で重要なアドミッション・ポリシーやファカルティ・ディベロップメントなどの質保証で重要な要素とともに、教員評価制度について研究したことである。さらに、先行研究ではほとんど紹介されていない米国での医学部における教員評価制度についても、訪問調査を通じて、その現状と課題を明らかにすることができた。

研究成果の概要（英文）：The purpose of this study was to conduct research for the development of faculty evaluation systems in medical schools. This study was able not only to advance research on faculty evaluation systems, but also to conduct research on admission policies and faculty development, which are important from the perspective of learning outcome-based education, central to quality assurance in higher education in recent years. Furthermore, from the perspective of international comparative research, a visit to a medical school in the United States was conducted, leading to the identification of the status and issues of faculty evaluation systems.

研究分野：高等教育、評価

キーワード：教員評価 医学教育 高等教育 質保証 比較研究

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

## 様式 C - 19、F - 19 - 1 (共通)

### 1. 研究開始当初の背景

近年、医師不足、医療の国際化、患者のニーズの多様化などの問題があり、充実した医学教育および教育の質保証が求められている。教育の質を保証するため、医学教育を直接担う教員の質を保証することは非常に重要であるが、医学部での多様化した教員の教育研究活動に対応した教員評価制度は確立されていない。

文科省委託調査(2014)によると、2015年時点での全国の高等教育機関における教員評価制度の導入率は約半数で、2008年の3割と比べて増加傾向にあり、注目の上昇が伺える。また、教員評価制度の目的、項目、結果の活用方法などの調査も進み、さまざまな大学で使われている教員評価制度の概要は明らかにされている(高田ら・大学評価・学位研究2009)。しかし、これまでの先行研究では、教員評価制度の包括的な研究や制度の効果を測定した研究は少なく、有効な活用方法は確立されていない(岩崎・大学教育研究ジャーナル2013)。さらに、医学部の教員の大多数が医師であり、診療や臨床教育に特化した教員などの複雑化する要素が含まれており、さらなる研究が必要である(赤池・医学教育2016)。医学部における教育業績評価の重要性の指摘や評価方法の事例はあるが、医学部における教員評価制度の包括的な研究はない。

そこで本研究では、医師養成を目的とした医学部での教員評価制度を調査し、効果的な評価制度の基盤作りに貢献する研究を実施する。文献調査、事例研究や訪問調査を通じて、医学部で教員評価システムの現状を把握し、課題を明らかにする。そして、国際認証が重要になっている中で、海外の医学部での教員評価制度も調査し、日本の医学教育の発展に寄与できる医学部での教員評価制度の確立に資する研究を実施する。

### 2. 研究の目的

本研究の目的は、医療教育の発展につながる医師養成の医学部での教員評価制度の基盤構築のための研究をすることである。具体的に、医師養成過程である医学部医学科における教員評価制度の調査を実施するとともに、国際認証が重要になっている中で、海外の医学部での教員評価制度も調査する。さらに、近年の教育の質保証において中心となる学修成果基盤型教育の観点から、アドミッション・ポリシーやファカルティ・ディベロップメント等の教育に関連する大学の機能や役割を調査し、教育や教員の発展に寄与できる教員評価制度の在り方を研究する。

### 3. 研究の方法

本研究における研究方法は、基礎的な文献調査や日本国内の教員評価制度の事例研究、そして、海外の大学への訪問調査による国際比較である。

1. 教員評価制度に関わる基礎的な研究資料・文献を整理し、分析する。
2. 所属大学および他大学の医学部における教員評価制度に関する調査を実施し、事例研究を通じて課題を深く分析する。
3. 評価が進んでいる海外の医学部での教員評価制度の文献および訪問調査を実施し、比較研究により日本の教員評価制度の改善点を見出す。
4. すべての研究をまとめ、医学教育に貢献できる医学部での教員評価制度の特徴を解明する。

### 4. 研究成果

研究計画1年目は、教員評価制度に関わる基礎的な研究資料を収集するとともに、教員評価の教育面に関連するアドミッション・ポリシーやFDに関する調査を実施した。初年度の主な研究成果は下記の2点である。

研究者が所属する大学や他大学における教員評価制度に関する事例を収集し、内容を整理するとともに、高等教育の質保証や教員評価制度に関する基礎的な研究資料等を収集し、検討を進めた。

日本の医学部におけるアドミッション・ポリシーに関する情報を収集・整理するとともに、教員の教育力向上の観点からのFDに関する論文や資料の整理を実施した。

研究計画 2 年目は、1 年目に実施した教員評価制度に関わる文献調査を発展させ、高等教育の質保証の枠組みにおける教員評価制度に関する研究を実施し、主な成果は下記の 3 点となる。

教員評価制度に関する米国の文献を調査し、教員評価制度の機能や目的における日本との違いを特定した。米国の複数の医学部における教員評価制度に関する文献を整理し、教員評価の実践に関する特徴をまとめた。また、医学教育の質保証全体の枠組みからの教員評価の位置づけを調査するため、日本の医学教育分野別評価における教員評価の項目を調査するとともに、世界医学教育連盟グローバルスタンダードに記載されている教員評価の項目と比較分析した。

日本の医師養成を目的とした医学部におけるアドミッション・ポリシーを分析し、International Association for Medical Education (医学教育国際協会) の国際会議にて発表した。本発表では、アドミッション・ポリシーを分析することで、日本の医学部における求める学生像の特徴や求められている能力を明確にした。また、その医学生像に適合する医学教育を実践する教員とその評価方法に関する今後の課題を示した。

10th International Conference on Data Science and Institutional Research (国際応用情報学研究機構によるデータサイエンスと IR に関する国際会議) にて、日本の大学における FD に関する調査結果をまとめた論文を発表した。本研究では、高等教育における FD の在り方について、日本の大学から収集したデータを基に、教員の能力育成を促進する教員評価の在り方について論じた。

研究計画 3 年目では、昨年度に実施した米国の大学における教員評価制度に関する調査をさらに深化させるため、米国現地調査経験を有する国内の研究者を訪問し、聞き取り調査を実施した。本訪問調査により、米国における教員評価制度の機能や目的への理解を深めるとともに、来年度に実施予定の米国訪問調査に役立つ情報を収集することができた。具体的には、米国の大学におけるテニユア審査やその基準、さらに教員評価における教育力評価に関する近年の動向に関する情報を収集することができた。また、調査結果を基に、来年度の米国訪問調査の研究内容を精査することができた。

研究計画最終年度である令和 5 年度は、これまでの研究内容をまとめるとともに、新型コロナウイルス蔓延の影響から延期していた米国訪問調査を実施し、主な成果は以下の 3 点となる。

令和 2 年度にプロシーディングとして発表した日本の大学における FD に関する研究をさらに進め、その研究成果を論文と出版した。本論文では、高等教育における FD の今後の在るべき形に関して、日本の大学から収集したデータの質的データに焦点を当て分析し、その結果をまとめた。また、教員の能力開発のための FD における重要テーマの特定、そして、教員能力開発の動機につながる包括的な教員評価の必要性について論じた。

医学部のアドミッション・ポリシーに関する研究成果として、全国の医師養成課程のアドミッション・ポリシーにおける求める学生像を調査した論文を出版した。

教員評価制度の国際比較研究を実施するため、米国教員評価制度の例として、米国中西部の大学の医学部で教員評価を担当している副学部長に対するインタビュー調査を実施した。本インタビューから、米国の医学部における教員評価制度の実態とともに、その現状や課題に関する知見を得ることができた。

4 年間を通じた本研究の成果としては、教員評価制度のみならず、大学の教育や教員に関わるアドミッション・ポリシー及びファカルティ・ディベロップメントに関する研究成果もあげることができた。さらに、国際比較研究の観点から、米国の医学部に対する訪問調査を実施し、米国医学部の教員評価制度の現状を研究するとともに、日本における課題も明らかにすることができた。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計3件（うち査読付論文 2件／うち国際共著 2件／うちオープンアクセス 1件）

1. 著者名 Ozeki Satoshi, Hayashi Toru, Fukano Masa, Yamazaki Shinichi, Beach Andrea L., Sorcinelli Mary Deane	4. 巻 7
2. 論文標題 Examining the Key Components of Faculty Development to Advance Japanese Higher Education: A Qualitative Study	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 International Journal of Institutional Research and Management	6. 最初と最後の頁 1~16
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.52731/ijirm.v7.i1.698	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

1. 著者名 Satoshi Ozeki, Toru Hayashi, Masa Fukano, Shinich Yamazaki, Andrea L. Beach, Mary Deane Sorcinelli	4. 巻 -
2. 論文標題 Exploring the Future Trends of Faculty Development in Japanese higher education	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Proceedings of the 10th International Conference on Data Science and Institutional Research	6. 最初と最後の頁 291-294
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 大関 智史, 松本 成史	4. 巻 34
2. 論文標題 医師養成課程における「求める学生像」の実態調査 テキストマイニングの手法を用いてー	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 大学入試研究ジャーナル	6. 最初と最後の頁 218-222
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計2件（うち招待講演 0件／うち国際学会 1件）

1. 発表者名 Satoshi Ozeki, Seiji Matsumoto
2. 発表標題 What qualities of students do Japanese medical schools seek?: A quantitative text analysis of admission policies
3. 学会等名 An International Association for Medical Education 2021, The Virtual Conference（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Satoshi Ozeki, Kristin Ann Hobson
2. 発表標題 Cross-Cultural Review of Faculty Evaluation at Medical Schools in Japan and United States
3. 学会等名 第52回 日本医学教育学会大会インターナショナルセッション
4. 発表年 2020年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関